



10月21日 苑外レクで秋を満喫してきました

# それいゆ 広報

Vol.118

医療法人 同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院 TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ TEL0577-34-5026
- デイサービスセンター ベれる TEL0577-36-7077
- Dr.Orishige ビオメゾン TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ TEL0577-37-5666
- りあん・ど・それいゆ TEL0577-32-8166

平素より介護老人保健施設それいゆをはじめ医療法人同仁会にて運営される諸サービス事業のご利用に際し、皆様のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在、介護職場では急速な高齢者の増加に伴い、介護人材の不足が深刻な問題となっており、中でも介護職の離職率の高さや、新たな人材確保が困難な現状にあります。

その原因の一つとして、介護現場で「その人は実際に何ができて何ができないのか」、介護のスキルに関する評価の指標や教育の手法が標準化されていないことが挙げられます。

今、介護職の実践的なレベルを全国共通の基準で認定する「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」が少しずつ広がっています。この制度は介護職員の技量を客観的に評価し、やりがいや処遇改善につなげるため二〇一二年に内閣府が創設し、現在は厚生労働省が所管しています。同じ職場で働き、一定の講習を受けた先輩職員や上司が評価者として技能を評価するのが特徴です。

当法人では、七名が職員のレベル認定を行う評価者講習を受講しました。今後は職員指導をする際に介護キャリア段位制度を用いて指導するように、しくみを構築し、マニュアルに制度の内容を盛り込んでいく予定です。

また、レベル認定者を増やし質の高い介護サービスの提供を目標に職員が一丸となって、皆様に『この施設なら安心』と思ってもらえる施設になることをめざしていきます。今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

介護老人保健施設それいゆ  
看護介護部長  
**和賀登 恵子**

介護プロフェッショナル  
キャリア段位制度「評価者講習」を受講して

## キャリア段位制度の概要

**キャリア段位制度とは？**

企業や事業所ごとにバラバラに行われている職業能力評価に、「キャリア段位制度」という共通のものさしを導入する事で、成長分野における人材育成を目指します。

- ◎これまでの資格制度で不足していた「実際にその現場で何が出来るのか」という部分を補うため、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価します。
- ◎エントリーレベルからプロレベルまで、7段階でレベル認定を行います(キャリア段位)。
- ◎介護プロフェッショナルでは、まずレベル1からレベル4について基準をつくり、レベル認定を行います。

レベル	分野共通の考え	介護プロフェッショナル
7	専門的知識を必要とする、高度な専門知識を有する	◎多様な生活環境をもつ利用者に対する高い介護を実施 ◎介護技術の指導や職場発達等のキャリアアップにたいし、チームケアの推進を実施
6	専門的知識を必要とする、高度な専門知識を有する	◎チーム内でのリーダーシップ(リーダーシップ研修員、主任等)として活躍する ◎本レベル以上の「アッセター」になれる
5	専門的知識を必要とする、高度な専門知識を有する	◎利用者の状態に応じた介護や他職種の連携を行うための幅広い知識の活用・活用を習得し、的確な介護を実施
4	一人前の仕事ができることに加え、チーム内でリーダーシップを発揮することができる	◎一定の範囲で、利用者ニーズや、状況の変化を把握・判断し、それに適した介護を実施 ◎基本的な知識・技能を習得し、次のレベル学習者として、自身の介護を完成
3	指示がなくても、一人前の仕事ができる段階	◎初任者研修により、在宅・施設で働く上で必要となる基本的な知識・技能を修得
2	一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる段階	
1	エントリーレベル 職業研修を受けた段階	

**キャリア段位制度ができると、職員・事業所にとって何が変わるの？**

- 現場で何が出来るかを把握できます
- 評価を受ける中で、自身の介護技術を成長させることができます
- 1ヶ月以内、研修受講の材料につなげます
- 転職の際のデメリットを軽減できます
- サービス水準をアップできます
- 評価を福利へのOJTとして活用できます
- 業務のやりがい、成長を促します
- 企業等の向上につながります
- 業務現場での定着率の向上が期待できます

# 第二十七回 全国介護老人保健施設大会 in 大阪

## 咲かせよう医療と介護の大輪の花

平成二十八年九月十四日～十六日

介護老人保健施設それいゆ

管理栄養士 佐藤 伶子  
看護師 田中 夏澄

この度、全国老健大会において、それいゆで実施した研究を発表させて頂きました。

今回私たちが行った研究の表題は『すべてのケアは繋がっている』**重度の褥瘡のケアを通じて**です。重度の褥瘡を持った九十八歳の高齢の利用者様に対し、褥瘡の治癒に向け多職種協働でケアを行い、褥瘡治癒、ADL、QOLの向上を実現した事例について発表させて頂きました。

ますます加速する超高齢化社会の中で、施設に入所される利用者様の介護度も年々上がり、それに伴い褥瘡有病率も上がり、利用者様のADL、QOLの低下に繋がっています。そのような中で、老健という施設において私達ができるケアをそれぞれの職種が協力し実行しました。

褥瘡の治癒には「体圧分散・スキンケア・栄養管理」が必要不可欠だと言われています。これらの三要素を全て満たす為に、毎日の創部の処置やガーゼ交換、二時間毎の体位交換、ポジショニングの統一、清潔保持、補食を使用した必要栄養素の提供を多職種が情報を共有しながら行い、定期的にご利用者の状態の確認とケアの変更を行いました。また、退所期間中に褥瘡の悪化がないよう、在宅期間中のサビ

ス提供者との情報の共有を行いました。その結果、一年六月月という歳月をかけて、褥瘡の治癒、体重増加、嚥下状態の改善、食欲増進、ADL、QOLの向上を実現させることができました。この研究により、九十八歳という高齢であってもADL・QOLの向上が実現できること、一つの目標に向

かって多職種が協力することでより良い効果が生まれることを改めて実感することができました。

また、今回このような効果が出た一つの要因として、必要な栄養素を十分に摂取できたことが大きかったように思います。入所時低栄養状態だった利用者様が食事や補食を摂取できるようになり、低栄養状態の改善と共に状態が回復していきまし

た。高齢者は疾患や老化による味覚の変化、摂食機能の低下により低栄養状態に陥りやすくなります。低栄養状態に陥ると認知機能低下、免疫力や体力の低下、筋肉量や筋力の低下、骨量減少、気力の低下等が起きます。また最近よく耳にするフレイル・サルコペニア・ロコモといった状態も低栄養から引き起こされま

す。リハビリを精力的におこなっても十分な栄養が摂取できていない状態では筋肉量が増えることはなく、むしろ筋肉量を減少させてしまうこともあります。老健という在宅復帰を目指すリハビリ施設の中で、リハビリに励む利用者様に対し、管理栄養士として低栄養状態の改善に努めていくことが私の



佐藤

田中

重要な役割だと感じています。これからも利用者様のADL・QOL向上の為に責任とやりがいをもって日々の業務に努めていきたいと思っております。

※1 フレイル↓虚弱になり身体機能が低下して、一人での外出や身の回りのことをするのが難しくなった状態。

※2 サルコペニア↓加齢にともない筋肉量が減少した状態。

※3 ロコモ↓運動器の障害により歩行や日常生活に支障をきたした状態。転倒や骨折のリスクが高まる。

### 褥瘡治癒の経過



# 第二回 学習療法実践研究シンポジウム in大阪

平成二十八年九月十七日～十八日  
介護老人保健施設それいゆ 看護介護部  
2階 高ノ山・3階 荒井・4階 富田

九月十八日、大阪国際会議場で開催された学習療法シンポジウムに参加させていただき、失語症利用者の発語を目的とし、歌を取り入れた学習療法を



荒井主任（写真中央左）



富田 高ノ山主任



開始してから三年間の効果を事例研究し、周囲の励ましと協力で、研究発表をしてきました。  
川島教授の講義や他施設との交流で、学習療法の素晴らしさを学びました。

また、発表前日は介護老人保健施設なにわローランド様（兵庫県）を見学させていただき、多職種が連携して学習療法に取り組む姿勢や、学習療法委員が主体となって職員間の情報共有に努め、積極的に家族へ情報発信してみえる様子に感銘を受けました。

これからの学習療法委員会では、限られた時間でもコミュニケーションを大切にすること、又、統一した支援を目標にし、効果を分析して伝えていけるよう、取り組んでいくと同時に、非薬物療法の一つとして飛騨地域で最初に学習療法を導入した施設としての強

みを大切にしていきたいと思っています。  
学習療法の良さを多くの方々に理解して頂きたい気持ちでいっぱい、内容ぎっしりの見て楽しいポスターを作成し、一階エレベーターホールに掲示しました。

ぜひ、エレベーターを利用される際は、一度立ち止まって見てみてください。  
**脳科学理論から誕生した学習療法**

学習療法は、「学習療法実践士」の資格を持った施設職員が、KUMONが開発した高齢者専用教材と方法で、笑顔で楽しくコミュニケーションをとりながら行います。

生活に密着した簡単な計算・音読といった記憶のトレーニングを行うことで、頭のおでこの部分（前頭前野：脳の働きの中で歳とともに衰えていく部分。脳の中で最も高次の働きをしている部分）を活性化させ、脳機能を向上させます。学習療法は認知症の予防・改善を行う非薬物療法です。実際に施設で学習療法を行っている利用者様も、楽しんで学習されている姿がみられます。

現在当法人内では、事業所内の利用者様の移動があった場合でも、引き続き学習療法を継続して受けられるように進めておりま



バイオメゾンでの学習療法の様子



ショートステイでの学習療法の様子

す。今後も、学習療法に取り組み、利用者様の元気な笑顔が見られるケアを目指していきたいと思えます。

# 七 十 歳 時 記

敬老会 9月17日(土)

第一部  
博文会民謡コンサート



第二部  
百歳以上と米寿のお祝い

百歳…二名  
百一歳…二名  
米寿…五名



食事会

献立

五目ご飯  
秋刀魚梅煮  
天ぷら盛り合わせ  
焼き茄子  
吸い物  
梨コンポート

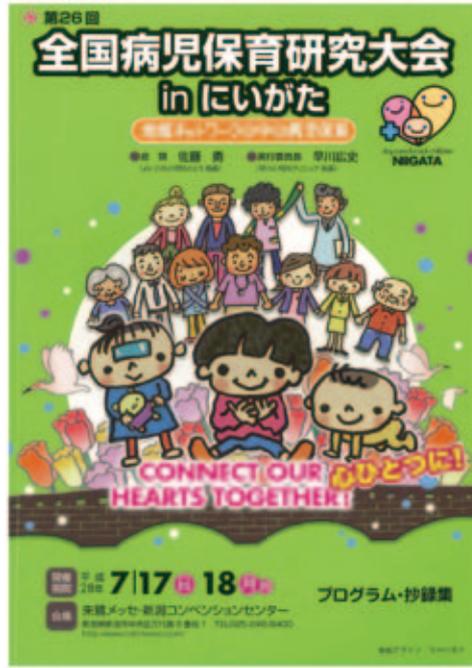




# 全国病児保育研究大会

## in新潟に参加して

病児保育室プティそれいゆ管理者 白田陽子



普段交流を持つことのできない他県のスタッフ同士が意見交換や情報交換しながら学ぶ貴重な二日間となりました。

病児保育には「保育看護」という専門領域があります。「身体」も「心」もケアを必要とする病児とその保護者に接するとき、「保育看護」つまり保育と看護両方の知識と技術を身につけ、磨き続けていくことが求められます。

今回の研修では、病児保育専門士だからこそ気づける保育看護のあり方について深く学ぶことができました。

岐阜県で病児保育が誕生して今年で二十年。プティそれいゆも開設から八年目を迎えました。今後もより一層安全で、質の高い保育を提供するため、職員全員が「保育看護」のあり方を追求していきます。

「親も子もつらい病気の時だからこそ、ここに来るとホッとする」と言われるような、親子の心に寄り添える病児保育室でありたい」との思いを新たに二日間となりました。

参加させていただきありがとうございました。

全国病児保育研究大会は、年に一度開催される病児保育協議会の全国大会です。病児保育事業に携わる医師、保育士、看護師のみならず、栄養士や薬剤師、事務、企業や行政など、あらゆる職種の方々が一堂に会します。今年七月十七日から十八日、「新潟コンベンションホール」を会場に開催され、私は昨年度取得した「病児保育専門士」の資格認証式にも参加させていただきました。

講演会、研修、セミナー、ワークショップなど多様なプログラムを通して学ぶのは、保育の手法（異年齢保育、障がい児）、小児疾患の知識、服薬支援、感染症（隔離基準）、食物アレルギー、救急救命講習、保護者支援、異業種間の連携、事故防止など多彩な内容で、



安藤保育士 白田管理者 下畑看護師 古田保育士

医療法人同仁会20周年記念それいゆ広報展  
 シザミひだメディケアガーデン文化展

第八回 シザミひだ

メディケアガーデン文化展  
 『みんなで秋を楽しみましょう!』

十一月十三日～十八日まで、文化展が開催されました。今年には医療法人同仁会の二十周年という節目の年でもあり、それを記念して初期の頃からの『それいゆ広報』を一挙展示しました。ご利用者様、ご家族様、また職員も「こんな事もあったんやな」、「あれ?この人〇〇さんでしょ!!今も変わらんなあ」、「懐かしいね。」などと、とても興味深くご覧いただき楽しめました。(写真①)

作品展では、年々出品して下さる作品が多くなり、大変うれしく思っております。今年には約二百八十点の作品を展示させていただきました。皆様方の作品は、どれも力作ばかりで多くの方々の目を楽しませていただきました。(写真②③)

文化活動では、『いきいき健康体操』、『裏千家 谷口宗美御社中の皆様によるお茶席』を計画いたしました。『いきいき健康体操』は参加のご希望者が多く、一日の定員を超えたため、講師の先生にお願いし、二日間の開講となりました。指、腕の体操やタオルを使った体操など、参加された皆様は笑顔で取り組まれ、体操終了後はお疲れの様子もなく、晴れやかな表情をなさっていらつしやいました。(写真④)

毎年恒例のお茶席では、谷口先生がお点前を下さり、静かな空間の中、心落ち着くひと時を過ごしていただけたことと思います。(写真⑤⑥⑦⑧)

また今年には、文化展前日に『フラワーアレンジメント』の講座がありました。生花組合の方々の主催で約三十名のご利用者様が参加されました。たくさんさんの色とりどりの綺麗なお花の前に、「こんなきれいに作れるかな?」と少し緊張された様子でしたが、生花組合の方や職員がお手伝いさせていただきました。三十分ほどとても素敵なフラワーアレンジメントが完成しました。思った以上の出来栄えに大変喜ばれ、作品と一緒に記念撮影をしました。(写真⑨)



写真⑥



写真④



写真⑦



写真⑤



写真⑧



写真①



写真②



写真⑨



写真③

11月より  
新規オープンしております!!

ラク・楽・らくだ ゆっくりゆっくり、パソコンを通して  
楽しいことのはじまりはじまり...

中高年者・初心者の方歓迎  
パソコン倶楽部

# ひだらくだ 会員募集中!!

◎月曜～日曜の10:00～18:00の50分単位 ◎月に4時間・8時間・16時間の各コース

パソコン倶楽部  
ひだらくだ

生徒一号 折茂佑子

脳トレ講座をはじめ、パソコンを使った自分の趣味を楽しむ講座、パソコンの基礎を学ぶ講座まで20種類の講座をご用意しております。お友達とおしゃべりの空間にしてもよし、何もせずぼーっとしてもよし。「自分のリビング」にしてください。

この機会にエクセルをマスターしよう!

12月のイベント  
先着8名まで【要予約】

オープン記念  
入会プレゼント有!!

私も認知症予防としてはじめます。と一緒に新しいことに挑戦しませんか?お気軽にお問い合わせください。



## エクセル習得講座

全く初めての方、使ってはいるもののよくわからない方、既に業務や学校で使用されている方を対象に行います。

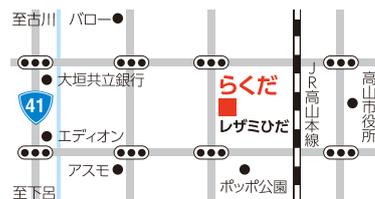
日時 12/23(金) エクセル初級講座  
12/24(土) エクセル・スキルアップ講座  
各回とも12時から16時30分まで [4時間30分]

参加費 無料

## 株式会社レザミひだ

高山市昭和町2-85-1 メディケアガーデン  
TEL.0577-57-8910  
[お問い合わせ・らくだ直通番号]  
hidarakuda@outlook.jp

☆漢字検定の試験会場に指定されています



### 編集後記

今年、医療法人同仁会は創立二十周年を迎えました。私は創立された年に老健のシンボルマークの原案作成、老健それいゆが開設したその翌年から『それいゆ広報』の制作に事務長と関わってきました。広報では利用者・ご家族様や地域の皆様、各事業所スタッフの姿をお伝えする事が出来ている事は大変光栄に感じております。どの号を見ても、変化していく時代の中でも皆さんの顔は生き生きとした表情をされています。改めて、この二十年間が多くの地域の皆様に支えられてきたことを実感し感謝の気持ちで一杯となりました。来年は介護老人保健施設が開設二十年を迎えます。皆様のお役に立てることを日々、心がけて一層の努力をしてまいります。これからもそれいゆ広報を発行させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

※昭和町のレザミひだメディケアガーデン南棟二階ホワイエで「きらきら☆スタッフ写真展」を年末まで開催しております。皆様、近くいらした際には気軽に立ち寄り下さい。

(医療法人同仁会事務局長 一戸かおり)